

11月豊中労山交流登山
11月19日(土)～20日(日)
三倉岳・牛田山



参加者 豊中労山19名 やまぼうし18名

松尾 白川 円山 宮木一 熊谷修 竹野弘 川村 原田 小林 三重典 三浦 石倉
入江 秋信 竹野栄 宮木澄 三村 功野(懇親会参加)

三倉岳コースタイム

広島駅北口7:10⇒三倉岳登山口8:30～9:00→朝日岳10:20→中岳10:35→
夕日岳11:20～(昼食)～12:40→三倉岳三角点12:52→登山口14:25⇒
マロンの里⇒岩倉ロッジ16:00

牛田山コースタイム

岩倉ロッジ7:50⇒牛田公民館9:10→神田山10:03→牛田山10:43～(ティータイム)～11:33→尾長山12:40→仏舍利塔13:09→広島駅北口駐車場13:35

○

豊中労山との交流登山を始めて今年で9年目になりました。比婆山での交流が最初でした。やまぼうしで9年連続での参加は、円山さんだけです。

今回も実行委員としてがんばってくれました。その他、ケーキやクッキー、大学芋などつくってきてくださった方ありが

とうございました。

19日は三倉岳に登りましたが、朝霧におおわれていた三本槍の姿が、霧が晴れるとともにその鋭利な槍の穂先がくっきりと見えたときにあがった皆の歓声。あんな急な山に登れるのかしら、C班の人は来なくて損したねという声が、豊中の参加者の中から上がりました。

この日はBコースから朝日岳と中岳の鞍部へと登りザックを鞍部において朝日岳へ。頂上からの眺望に歓声が上がりました。「海は見えるの。」遙かに見えた光る瀬戸内海にまた上がる歓声。中岳への登りにかかり今までと一変したけわしさ、この変化にまたまたみんな喜び、中岳頂上へ。十分に眺望を楽しんだ後、夕日岳へ向かう。またしても鎖とはしご。夕日岳の頂上での昼食。豚汁と豊中労山提供のミニ餃子入りのわかめ汁をおしくいただく。

豊中の人とはほんとはよく気がつく人たちだ。三角点ピークに登り後はひたすら階段道を下り駐車した広場へ。マロンの里により皆それぞれ買い物を楽しみ岩倉ロッジへ。食事の後は例年通りの酒飲み放題の交流会。歌あり、クリーンハイクのあり方の激論ありで夜も更けて就寝。

翌20日は牛田公民館前からバラ公園を通り牛田山、尾長山、二葉山といつもと逆コース。牛田山の頂上での紅茶とケーキ、大学芋など昼前のおなかを少し満たして新幹線口のバス駐車場にてまたの日の再会を約して解散した。

牡蠣フライだ、お好み焼きでのビールだといいいながら、豊中労山は駅ビルへ消えた。

来年は、10年目の一区切りになります。今後は、お互いの機関誌を見て行きたい山に個人なりグループで参加しようということに話が向いています。楽しい2日間でした。

お世話してくださった実行委員や今回山行に参加し、鍋やコンロ、水を担ぎ上げてくれた方々、ありがとうございました。

他地区の労山との交流は、正直言ってなかなか骨の折れる仕事ですが、それなりの成果はあるものです。来年は、豊中労山がどこかへ案内してくれるでしょう。マイクロバスがいっぱいになるよう参加しましょう。

(記 松尾 幸男)

豊中労山からの礼状

澄み切った青空のもとで、楽しいひと時を本当にありがとうございました。又一つ楽しい思い出が増えました。

皆様にも改めて御礼を申し上げたいと思います。

これからの交流のあり方は、どこかに行き先を決めた企画をし、それぞれの立場で希望者を募り一緒に山行をすると言うのはいかがか?と思うのです。そうすれば互いに人集めや段取りの心配はなくなります。たとえば、懇親会の中で発表したように、私の「スキーと雪山」に「やまぼうし」から参加する人だけで、別にマイカーで合流されても良い訳で、(何もこちらのバスと一緒にする考えをしない)。それぞれが一つの企画に参加する、その企画は前もって互いに連絡すれば、会報やメールで知らせることが出来るでしょう。試験的に私の方から、いくつかの企画をお知らせしますので、行ってみようという方が居られれば一人でも参加する。またそちらに企画があれば、こちらから余裕のある人が参加する・・・。

とにかく招待をするやり方は止めましょう。

「互いに相手の企画に合流する」と言う気持ちでやったら・・・と。

ともあれ、まずはお礼までに。

(新保 行征)